



校長室だより

R6.5.22.号

岐阜市立東長良中学校

2年生 立志合宿によせて

新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が解除されておよそ1年。国内の観光地やレジャー施設には、国内外から観光客が戻ってきました。私たちの校区で行われる1300年の歴史がある長良川鶺鴒も11日に鶺鴒開きがあり、観覧船も人数制限がなくなったとの報道がありました。そんななか、昨年度、仲間と宿泊を共にする学習としてファミリーパークでの宿泊学習を経験し、この度中学校2回目の仲間と宿泊を共にする学習、篠島での「立志合宿」を迎えます。

立志合宿のスローガンは、「**Over the top**～1年生のときの自分を超越る～」だと聞きました。この合宿を通して、1年生の自分を超越るために弱い自分を改善できるようにしたいとしおりに書かれています。私たちにはこれから改善すべき「弱い自分」と、それ以上にこれからも伸ばしていきたい「良い自分」もあります。1年生3月の志成集会では、各クラスから1年間の財産が語られ、自分たちの良さとして共有されました。是非とも弱い自分の改善に加えて、自分や仲間の良さを実感できる立志合宿にしてほしいと願っています。

2年生の校訓は「友を大事にする」です。そして、友を大事にする学年の軸を「掃除と合唱」としてこの2か月取り組んでいます。皆さんの活動内容を見ると、学校を離れた篠島でも大切にされているようです。まさしく、「いつでも、だれとでも、誰からにも」を実践できる場となっています。そういった活動のなかで、自分の弱さを克服したり、自分や仲間の良さを実感したりしてください。

篠島では岐阜県では経験することができない海での活動が中心です。日頃の環境とは違った大自然のなかで、仲間と触れ合います。民宿の方や漁師さんから島での生活や職業についての話や篠島中学校と交流する機会があります。そんな活動により、みんなの楽しさに深みが増すことになるでしょう。こんなに楽しい仲間と同じ学級で良かった、同じ学年で良かったと。そんな思いが何よりのお土産になります。思いっきり活動してきましょう。